

市民とつながる

議会だより いちのせき

No.75 2023.11.1

CONTENTS

9月通常会議

- 話し合ったことズーム
アップ(議案審議) …… 4
- 一般質問 …………… 10

「巻頭特集」 語ろう市議会×猟友会

[特集2]

令和4年度決算を
議会が厳しくチェック …… 6

- 特集 -

五 市議会 × 猟友会

野生鳥獣による農業被害が問題となる中、行政の依頼を受け、駆除などに協力する猟友会への期待が高まっています。一関・花泉・平泉町（西磐井）を活動拠点とする西磐猟友会の千葉時男さん、大東・千厩・東山・室根・川崎・藤沢（東磐井）を拠点に活動する東磐猟友会の菊池公一さんに、猟友会の活動や議会に期待することなどを聞きました。



狩猟の知識を生かし
有害鳥獣駆除に貢献。

「ありがとう」がやりがい

千葉 時男 さん(75) CHIBA TOKIO
花泉町老松

西磐猟友会事務局長 狩猟歴54年

菊池 公一 さん(65) KUCHI KOUICHI
大東町摺沢

東磐猟友会会員 狩猟歴22年

— 狩猟を始めたきっかけと、猟友会について教えてください。

千葉さん 猟師だった父の影響で21歳の時に免許を取りました。西磐猟友会は多い時で約600人いましたが、現在は151人。会長の佐々木洋平さんは全国組織の大日本猟友会の会長も務めています。

菊池さん きっかけは親戚の狩りに同行して興味を持ったことです。東磐猟友会は、猟銃免許とわな猟だけの免許所持者を合わせて156人。東磐井はシカが多いので、班を組んで獲物を追い込む巻狩まきかりという手法の猟をしています。

— 狩猟の魅力、やりがいを教えてください。

千葉さん 仲間と集まって狩りをする時間が楽しい。有害鳥獣駆除では地域の方から感謝されるとうれしいし、やりがいを感じています。

菊池さん 繁殖期のシカ猟で、笛の擬音で獲物をおびき寄せて仕留める駆け引きが面白いです。

— 活動についての悩みはありますか。

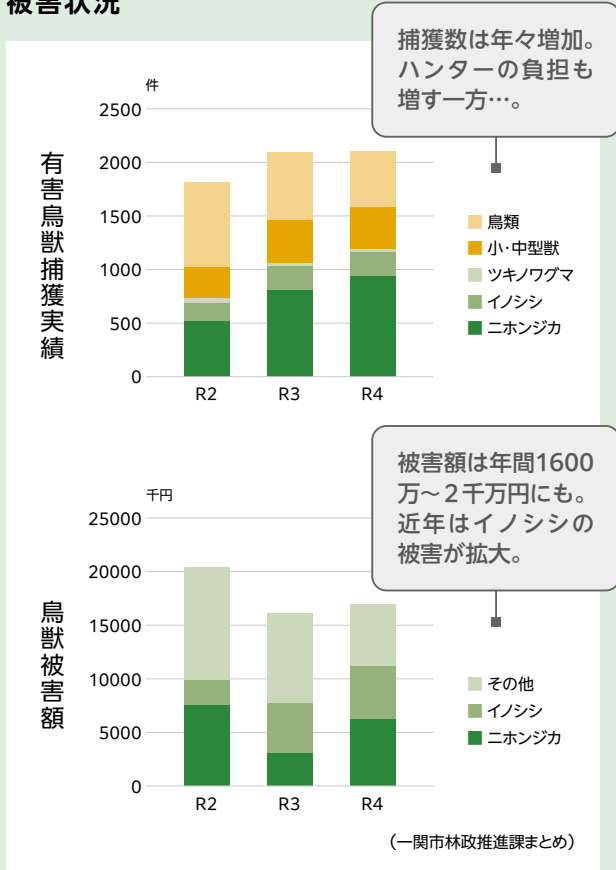
千葉さん 本来、猟友会は狩猟を楽



一関市の有害鳥獣被害の状況と対応策

シカやイノシシなどの野生鳥獣による作物や樹木の食害、耕地の掘り起こしといった農作物被害が深刻化しています。近年は住宅付近への出没による人身被害も心配されるようになりました。最近3年間の被害状況と対応を紹介します。

被害状況



対応策

① 狩猟免許取得者助成

新たに狩猟免許を取得する人を対象に、必要経費の一部を助成

- ▶ 対象は、第一種猟銃免許の講習受講料や取得料（最大9万円）、わな猟免許の講習受講料や取得料（同1万4000円）、猟銃や保管庫などの購入費（同10万円）など。

② 電気柵設置補助

農産物などの販売農家を対象に、農地などに電気柵を設置する費用の一部を助成

- ▶ 資材費の3分の1以内で最大6万円。

③ 捕獲応援隊の組織化

猟友会会員を「実施隊」に委嘱し、免許を持たずに捕獲活動（わな猟）をサポートする「応援隊」を認定

- ▶ 市は狩猟免許を持つ猟友会員190人（2年任期）を鳥獣被害対策実施隊員に委嘱。応援隊は隊員の監督の下、わなの見回りや餌の管理、通報を担う。集落単位で組織化され、現在8団体が活動中。

しむ趣味の会ですが、最近では有害鳥獣駆除が役割のようになり、猟を通じた会員同士のつながりが希薄になってきているのが残念です。また、夏は狩猟を休み、個体数が増えた猟期に捕るのが望ましいのですが、鳥獣被害を考えると個体数を減らすことが重要であり、そこが悩ましい。

菊池さん ハンターは趣味の方々にあり、有害駆除が目的ではありません



んが、駆除が義務化しているようなところがあります。若いサラリーマンハンターが多くなり、駆除も土日の活動がメインですが、駆除した鳥獣を焼却処分する場合の施設の受け入れは基本平日のため対応に難しさを感じています。

—— 鳥獣被害の現状はどうですか。

千葉さん シカやイノシシ、ハクビシンによる農作物被害が多くなっています。

菊池さん カワウによるアユの被害、サギによる被害が気になっています

ます。

—— 市民ができる対策はありますか。

千葉さん 農地を荒らさないことや、野外に残飯を捨てないことです。

菊池さん タヌキが食べる柿の実を放置しないことです。

—— 市や議会への要望などはありますか。

千葉さん 囲いわなの設置や捕獲のための購入に当たっては、効果的な活用のためにも猟友会などに相談してほしいと思います。

菊池さん 有害鳥獣駆除に対する謝金申請（捕獲実績報告）の簡素化です。特に夏場でも焼却では焼却施設の証明が必要ですが、他市のように現場処理による証拠書類で対応可能になれば土日しか活動できない若いサラリーマンハンターが協力しやすくなると思います。

駆除を担うハンターの確保のため、現状の謝礼金額は維持していただけるようお願いいたします。



9月通常会議で話し合ったこと

令和5年定例会第105回9月通常会議
9月5～28日／会議期間24日間

会議では報告7件のほか、令和4年度決算12件を認定し、議案23件、
発委による意見書2件を原案通り可決しました。

ズームアップ

＞ 補正予算

* 議案第55号 令和5年度一般会計補正予算（第5号）

* 議案第66号 令和5年度一般会計補正予算（第6号）

可決

中里市民センター整備事業費に5億円を追加 公共土木施設災害復旧費に2億円

第5号で52億2,671万円、第6号で3億8,322万円をそれぞれ歳入歳出に追加し、予算総額を741億8,653万円としました。

主な内容として、第5号には地震で被災した中里市民センターの整備事業費（5億90万円）、エネルギー価格高騰に伴う支援策として市内事業所などを持つ事業者を支援する中小企業者等事業継続緊急支援交付金（7,420万円）、6月の豪雨で被災した農林施設と農地の両災害復旧費（計3,766万円）、台湾からのインバウンド（訪日外国人旅行者）、企業誘致を視野に入れた事業展開などの調査、ベトナムの高等教育機関との連携を進めるための企画調査事務費（450万円）などを計上しました。

第6号では8月の豪雨などで被災した公共土木施設の災害復旧費（2億424万円）、道路維持補修費（9,932万円）、農林施設災害復旧費（5,687万円）、農地災害復旧費（1,978万円）などを追加しました。

〈その他補正予算に計上した主な事業〉

主な事業	補正額	内容
バス等運行事業費補助金	1,353万円	一関花泉線（バス路線）の運行を継続するための経費を運行事業者（岩手県交通）に補助
地域介護・福祉空間整備等事業費補助金	4,113万円	介護サービス事業所の防災改修費を補助
農作物災害復旧対策事業費補助金	288万円	凍霜被害を受けた果樹生産農家の農業購入費を補助
インバウンド推進事業費	192万円	台湾からの観光客誘致のため、現地のPRイベントに出展

＞ 意見書

* 発委第3号 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書（議会運営委員会提出）

…子育て世代の若手議員の成り手確保などを目的に、議員が厚生年金に加入できる法整備を国に要望

* 発委第4号 不登校対策のための教育相談支援体制充実を求める意見書（教育民生常任委員会提出）

…スクールカウンセラーなどの相談員の増員を含めた不登校対策の支援充実を岩手県に要望

こんな質疑がありました

Q. 整備する中里市民センターの構造や面積は。

A. 鉄筋コンクリート造、地上2階建、延べ面積628.69㎡を予定している。令和6年11月下旬の完成を見込んでいる。

Q. 企画調査事務費に計上した旅費の内容は。

A. 台湾へ2回とベトナムへ1回の出張を計画しており、市長と随行員分の旅費を計上した。

その他の主な議案

* 議案第58～60号（仮称）国道343号渋民バイパス道の駅建設（建築、電気設備、機械設備）工事の請負契約の締結

可決

（仮称）道の駅だいたうの工事着手へ 令和6年の完成目指す

一関市大東町の国道343号渋民バイパス沿いに整備する「（仮称）道の駅だいたう」について、建設工事の請負契約を議会で可決しました。契約金額は建築工事が4億5,100万円、電気工事が1億6,170万円、機械設備工事が1億6,487万円。

こんな質問がありました

- Q. 道の駅の建築工事における木材利用は。
A. 建物は木造平屋建であり、全体において木材を使用する設計としている。



道の駅の建設予定地

* 議案第61号 財産の無償貸付

可決

旧花泉小にフリースクール開設へ

不登校児童生徒に教育を受ける機会を確保するためのフリースクール事業を計画する一般社団法人虹パークに10月1日から旧花泉小学校の用地・建物を無償で貸し付けることにしました。



無償貸し付けする旧花泉小

こんな質問がありました

- Q. フリースクールの利用人数は何人を見込んでいるのか。
A. 貸し付け相手方の7月時点の計画では25人となっている。

- Q. 無償での貸し付けとした理由は
A. 市にとっても多様な教育機会の確保と市有財産の有効活用につながることや、不登校児童生徒の保護者の経済的負担軽減につながるなどが理由である。

* 議案第70号 教育委員会の教育長の任命について

同意

…10月28日で任期満了となる小菅正晴教育長の後任として、時枝直樹氏（一関市花泉町）を選任する人事案が提出され、これに同意しました。

表決が分かれた案件

- * 認定第1号 令和4年度一般会計歳入歳出決算
- * 認定第2号 令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- * 認定第3号 令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- * 発委第3号 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

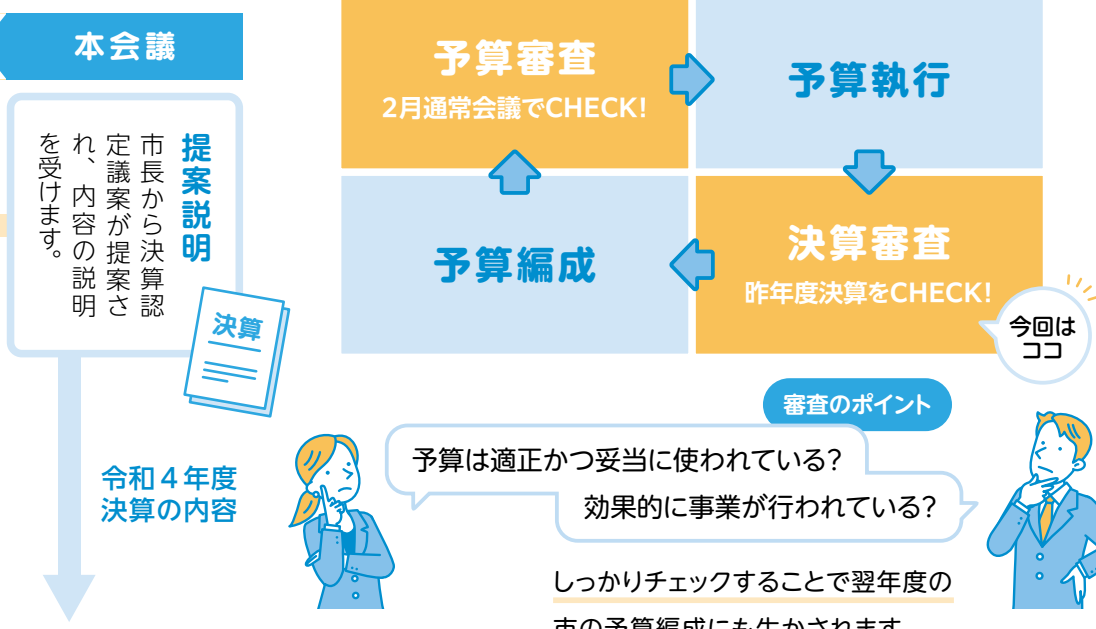
会派	清和会					一関みらい					輝郷会			日本共産党 一関市議団			公	無	決議結果							
氏名	佐藤浩	那須勇	佐々木久助	菅原行奈	門馬功	小山雄幸	千田恭平	沼倉憲二	千葉大作	佐藤幸淑	岩淵典仁	永澤由利	佐藤敬一郎	小野寺道雄	猪股晃	千葉信吉	千葉幸男	岡田もとみ		佐藤真由美	千葉栄生	齋藤禎弘	岩淵優	小岩寿一	武田ユキ子	勝浦伸行
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	議長	認定
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○		認定
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○		認定
発委第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		可決

○=賛成 ×=反対 ※公=一関市議会公明党、無=無会派

令和4年度決算を

議会が厳しくチェック

決算の認定は、議会の権限です。一関市議会における決算の審査から認定までの流れを紹介します。



令和4年度歳入歳出決算額

会計	歳入	歳出	
一般会計（認定第1号）	840億7,160万円	793億173万円	
特別会計	国民健康保険・事業勘定（認定第2号）	118億2,157万円	117億1,024万円
	国民健康保険・直診勘定（認定第2号）	5億3,227万円	5億3,215万円
	後期高齢者医療（認定第3号）	14億936万円	14億646万円
	都市施設等管理（認定第4号）	1億6,937万円	1億6,935万円
	工業団地整備事業（認定第5号）	6億9,479万円	6億2,358万円
	市営バス事業（認定第6号）	2億6,050万円	2億6,050万円
	浄化槽事業（認定第7号）	7,449万円	7,439万円
	物品調達（認定第8号）	822万円	809万円

左記のほか、水道事業会計決算（認定第9号）、工業用水道事業会計決算（認定第10号）、下水道事業会計決算（認定第11号）、病院事業会計決算（認定第12号）も審査しました。

全ての決算を認定

令和4年度一般会計、特別会計および企業会計の決算は、決算審査特別委員会で審査し、9月28日の本会議で全会計とも認定しました。

一般会計決算額（1万円未満切り捨て）のうち、歳入は前年度と比較して約58億169万円（7.4%）増えました。これは固定資産税や市民税などの増収、市の貯金である財政調整基金からの取り崩し（繰り入れ）などによるものです。

歳出は前年度と比較して約57億7823万円（7.9%）増えました。行財政改革の取り組みによって、人件費などが減少した一方、小学校の校舎建設などに係る投資的な経費が増加しています。

財政調整基金を取り崩し、財源の不足を補うなど、厳しい財政運営となりました。

議長と議会選任の監査委員を除く全23名の議員で構成する「決算審査特別委員会」を設置し、集中的に審査します。さらに委員会には三つの分科会を設置し、議員は、総務、産業建設、教育民生の3分野に分かれて詳細な内容をチェックします。

9月通常会議では、9月5日に特別委員会を設置し、9月26日まで審査しました。

CHECK!!



本会議

決算審査特別委員会を設置し慎重審査



採決・認定
委員会の審査結果の報告があり、討論を行った後に採決します。

委員会採決
決算を認定するべきか否か、委員会で採決します。

分科会審査
下記の三つの分科会に分かれ、決算の詳細について審査します。

総括質疑
決算認定議案について、議員が総括的な質問を行います。

反対討論

一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の決算認定に反対（千葉栄生議員）
一関市は中小零細企業者も多く、市民所得は決して高くない方々で地域経済を担っている。市民の実情を把握し、寄り添う取り組みと支援を強く求める。

決算に対する

賛成討論

全会計の決算認定に賛成（佐藤敬一郎議員）
市長は、市政運営について「地域の活力を高めるまちづくり」として重点的に取り組む施策」と「後期基本計画に掲げる重点プロジェクト」を掲げてください。それぞれの事業は市民生活のさまざまな分野で成果を上げられたものと評価する。

分科会ごとの担当分野



総務分科会（8人）

総務部、会計課、選挙管理委員会、市長公室、まちづくり推進部、消防本部に関する決算を審査

産業建設分科会（7人）

商工労働部、農林部、農業委員会、建設部、上下水道部などに関する決算を審査



教育民生分科会（8人）

藤沢病院、健康こども部、福祉部、市民環境部、教育委員会に関する決算を審査



附帯意見

「市有財産のうち普通財産の管理については、期限を定めた上で活用の手順を踏み、資産としての有効活用を図りたい」（総務分科会）



用語 附帯意見とは 決算を認定するにあたり、議会の意見などを表明するものです。法的な拘束力はありませんが、審査の結果を踏まえ、今後の予算執行に役立てることを市に求めるものです。

9月決算審査特別委員会

総括質疑

Q | 有害鳥獣対策事業費

A シカの捕獲実績については、令和4年度は939頭、令和3年度の809頭から130頭増加している。市内の猟友会などが実施している狩猟によるシカの捕獲実績は合計で令和4年度1624頭、令和3年度は1444頭と

180頭増加している。またシカによる被害額については、平成30年度は836万円ほど、令和元年度は874万円ほど、令和2年度は751万円ほど、令和3年度は304万円ほど、そして令和4年度は602万円ほどとなっている。

決算審査特別委員会では、9月15日、19日の2日間にわたって、総括質疑を行いました。令和4年度に実施したさまざまな事業について、13名の委員が質疑をしました。主な内容を紹介します。



捕獲されたクマ

Q | 生活保護費

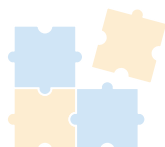
A 令和4年度は生活保護の廃止世帯数が開始世帯数を上回っており、令和3年度に比べ、保護世帯数や人数は減少している。令和4年度に生活保護を廃止した世帯は121世帯だが、主な廃止の理由は、死亡が42世帯、就労収入の増加によるものが16世帯、年金や手当の受給開始や増加によるものが11世帯などとなっている。

Q | *1 自治体DX推進事業費

A 住民の利便性向上を目指した取り組みとして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、レジに現金を投入すると自動で釣銭が出される機能を持った非接触型の公金収納レジを、本庁舎の市民課および収納課と、各支所市民福祉課にそれぞれ1台、計9台を設置した。

Q | *2 就職氷河期世代就労移行訓練事業費

A 支援対象者については、令和3年度が14人であったのに対して、令和4年度は新たに26人が対象となり、令和4年度末には、支援対象者は40人に増加した。令和4年度の成果としては、新規の支援対象者については、目標30人に対して26人、就労移行訓練の受け入れ企業の目標6社に対して18社、就職決定者数の目標20人に対して16人となっていて、受け入れ企業数が目標を上回ったのに対して、新規の支援対象者数と就職決定者数は目標を下回った。課題としては、まずは対象となる方に申し出ていただくこと。対象として申し出ていただいても、こちらからの連絡に対して、電話に出てもらえないケースもあること、対象ではあるが本人が支援を望まないなどである。



Q | ドラゴンレール大船渡線 観光活用推進事業費

A J R大船渡線の利用促進、誘客による沿線地域の活性化、事業の実施による大船渡線のPR、認知度の向上などを目的として、令和4年度から取り組んだ事業であり、令和5年度も実施している。事業効果としては、今後も継続することにより、大船渡線の利用促進や観光資源として認知度を向上などが図られるものと捉え

ている。参加者からの反響については、実施したツアーにおいて、参加者の皆様にアンケート調査を実施した結果、「一関の魅力を再発見した」「初めて利用した」などの感想とともに、ツアーに参加したほとんどの方から全体を通して、「とてもよかった」「よかったです」という非常に高い評価を頂いた。



豊かな自然の中を走る
大船渡線

Q | 資源・エネルギー循環型 まちづくり推進事業費

A 市では令和3年2月に宣言した2050年二酸化炭素排出実質ゼロの達成のため、また市の自然的社会的条件に応じた温室効果ガス排出量削減に市全体で取り組むため、その指針となる計画として、一関市地球温暖化対策地域推進計画を策定した。委託業務の内容については、地域の特性と課題などの整理、温室効果ガス排出量の現状推計や将来推計、目指すべき将来像や温室効果ガス排出削減目標の検討目標達成に向け、計画書の編み込みの検討、計画書本編および概要版の作成などとなっている。

Q | 下宿等費用補助金

A 成果については、親元を離れ、勉学やスポーツなどの目標達成を目指すし、下宿などから高等学校などに通学する162人の生徒の保護者に補助金を交付したことで、経済的支援となった。

課題については、生徒が最髙学年で部活動や大会が終わり、年度途中で親元に戻った事例があったが、市ではこの生徒の状況が分からず、親元に戻ってから補助金の交付まで期間が空いた例があった。

また、補助金請求に領収書の写しが必要なことから、書類をそろえるのに時間がかかったとのお話を頂いた。このようないことから、今後の申請、請求などの手続きに当たっては、学校に取りまとめの協力をお願いするなど、手続きがしやすい方法を考えていく。

決算 審査の 総括質疑とは？

質疑とは、議案に対する疑問や不明確な点を問う発言をいいます。決算審査の総括質疑とは、決算関連議案を一括して質疑を行う方法です。当市議会では分科会で決算の詳細な審査を行う前に、総括質疑を議場で行い、全体的な内容を確認しています。



用語

*1 自治体DX

自治体がデジタル技術を活用して、業務の効率化や生産性の向上を図り、住民の利便性や行政サービスの質を高める取り組み。当市ではDX推進計画（R5～R7）を策定しており、「キャッシュレス決済」「書かない窓口」などの導入を進めています。

*2 就職氷河期

バブル経済崩壊後の1990～2000年代の雇用環境が厳しい時期に新卒で就職活動を行っていた世代の人。経済環境の悪化の影響を受け、正社員での就職ができず、やむを得ずに非正規社員で社会に出るようになった人も少なくありません。



佐藤 敬一郎 議員
さとう けいいちろう

徳川家康

小・中学生の学力向上対策

Q 市は令和5年4月に行われた^{*1}全国学力テストの結果をどのように分析し、総括しているか伺う。

A 小学6年生は国語と算数の合計で平均正答率は66.5%であり、全国の平均値を100とした場合102で、全国や県平均を上回っている。中学3年生は国、数、英の合計正答率が47.7%で、全国平均に対して84、県平均に対しては93と下回っている。児童生徒の学習状況を把握・分析することにより、指導の成果と課題を検証し、改善を図ることを目的としている。



小・中学生の学力向上を目指そう

Q 学習教育環境の充実の考えを伺う。

A 小・中学校の児童生徒へ学習用タブレットの配付、電子黒板機能付き大型掲示装置やプロジェクターの配備、Wi-Fi環境の整備を進めている。

その他のQ&A

- マイナンバーカードの現状
- 花泉地域の医療の現状と対策



門馬 功 議員
もんま いさお

手塚治虫

外国人の就労促進

Q 外国人の受け入れについて基本的認識について伺う。

A 仕事を創出し、市内外から人が集うまちを目指している。国内に限らず、海外の人からも選ばれるまちにしたいと考えており、女性や若者が活躍できるまちを目指す取り組みと同様に、外国人の皆さんも活躍できる環境を整えていきたいと考えている。

外国人材の受け入れは、市内の事業所の場合、人口減少、高齢化の進行による生産年齢人口の減少、若者の進学・就職による県外への流出などにより、人材不足の状況が続いていることが背景にあると捉えている。外国人材の就労は市内経済において既に欠くことができないものと認識している。



海外からも選ばれるまちづくり

その他のQ&A

- 起業支援について



一般質問は9月7、8、11日の3日間で行い、14名の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。(文責は各議員)

登壇議員	ページ
門馬 功 議員	10
佐藤敬一郎 議員	10
小野寺道雄 議員	11
齋藤 禎弘 議員	11
岩淵 優 議員	11
沼倉 憲二 議員	12
佐藤 幸淑 議員	12
千葉 信吉 議員	12
千葉 栄生 議員	13
小岩 寿一 議員	13
佐々木久助 議員	13
永澤 由利 議員	14
岡田もとみ 議員	14
佐藤真由美 議員	14

議員の素顔をお見せします
#ひとつこと

今回のテーマは…
#好きな歴史上の人物は？

*1 全国学力テスト

文部科学省が全国の小学6年生、中学3年生の全員を対象に、学力・学習状況の調査を目的として行う学力調査。

単語帳

用語のひとつこと解説コーナーです



岩淵 優 議員
いわぶち まさる

上杉鷹山、杉原千畝

不登校支援

Q 生活リズムの乱れが睡眠不足につながり、^{*3}不登校を招く一因であることに着目し、睡眠の重要性を学ぶ授業や面談などの睡眠教育に取り組んでいる学校がある。不登校生徒の半数に改善が見られ、睡眠改善の必要性が浮き彫りになったそうである。教育委員会として、専門家と連携し睡眠教育を導入する考えはないか伺う。

A 睡眠教育は新しいアプローチの仕方だと思う。具体策として予定はないが研究していく必要はある。児童生徒たちを見ると生活の乱れはメディア、ゲーム、スマホと関係がある。昔とは比較にならないほど時間が取られており、影響は無視できない。その関連も含めて睡眠については注視していく。



9月9日に開催された不登校シンポジウム

その他のQ&A

- 奨学金返還支援制度
- 水道事業



齋藤 禎弘 議員
さいとう よしひろ

宮沢賢治

小規模農家への支援

Q 市の総合計画後期基本計画では「誰一人取り残さない」というSDGsの理念の実現に向け」とある。このことから農家の経営の規模に関わらず、市独自に中小零細規模の経営体への支援策を講じるなどして、規模の大小に関わらない支援をしていくべきでは。

A 規模によっては、設備の過剰投資の可能性があるが、このことを十分に研究しながら支援について考えていく。また、農業は立派な産業であると思っている。産業であるためには、自立するということが必要な要素である。それが自立し得ないという現状にあるのが現実である。SDGsの誰一人取り残さないということとは次元が違う話ではないか。



誰一人取り残さない農政の実現を

その他のQ&A

- 学校給食費の無償化について
- 小中学校の教員の体制について



小野寺道雄 議員
おのでら みちお

松尾芭蕉

女性・若者活躍の取り組み

Q 女性や若者の地元就職、地元定着が進まない要因の一つに企業や事業所のDX（デジタルトランスフォーメーション）の導入やAI（人工知能）ツールなどの業務への活用が進んでいないことが挙げられる。そこで、経済産業省が推進している採用活動から若手社員の定着、企業組織の変革、DXなど、人材の獲得・育成・定着の取り組みを支援するための組織として、地元企業と自治体、金融機関、教育機関等の関係機関とが連携する「^{*2}地域の人事部」の取り組みを行う考えはないか。

A 女性、若者活躍会議の目的の一つである人材確保を促進するため、当市のみならず経済的にも関係が深い平泉町と宮城県栗原市、登米市が連携し、取り組むことにより施策の効果を高めることができる
と捉えており、前向きに考えていきたい。
若手人材獲得へ連携を



若手人材獲得へ連携を

その他のQ&A

- 一閑遊水地事業
- 市道中里環状2号線の整備
- 有機農業の産地づくり
- みどりの食料システム戦略



*3 不登校

登校しない、あるいはしたくてもできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。

*2 地域の人事部

地域の企業群が一体となり、自治体や金融・教育機関などと連携し、人材確保や育成などを行う総合的な取り組み。



千葉信吉 議員
ちば のぶよし

ウラジーミル・レーニン

一ノ関駅周辺開発整備を

Q NEC跡地・JR一ノ関駅東側開発が進められている。同時進行で一ノ関駅西側地区の活性化が必要と考えるが、今後どのように取り組まれるのか。

A 一ノ関駅西側中心市街地の在り方について、土地や建物の所有者、商店主などの方々と懇談した。その際頂いた意見・要望を基に、今後も商店街の方々と「どのようなまちづくりを目指したいのか」など継続した懇談会を開催していく。さらにコンサルタントら専門家の助言を受けられる勉強会や相談の機会の提供を行う予定である。これらを実施する中、土地や建物の所有者、そこで活動や生活をしている方々の意向に沿った支援を行いながら在り方を検討していく。



建物の解体が進むNEC跡地

その他のQ&A

- 河川環境の整備の取り組み



佐藤幸淑 議員
さとう ゆきとし

高杉晋作

保育所の運営

Q 保護者が休日のときの保育の現状について見解を伺う。市が運営管理する保育所は基本的に保護者の勤務実態に合わせて子供を預かることになっているが、自身の用事がある会社を休む場合に子供を預けることができないという声がある。市は現状を把握しているのか、また保育所によって対応に偏りがあるのか伺う。

A 保育施設への入所要件に沿って対応しており、原則として全て同じ取り扱いをしている。個別のケースについてはさまざまな背景があることも認識しているので、子供とその保護者の事情を丁寧に聞き、施設側の事情で預かりができない場合は、理由を説明するなど理解が得られるよう努めていく。



子育て世代に寄り添った保育運営を望む

その他のQ&A

- ふるさと納税制度改正について



沼倉憲二 議員
ぬまくら けんじ

後藤新平

木質バイオマス発電支援

Q 市内の学校跡地を利用した^{*4}地元林業事業者による木質バイオマス発電計画が進んでいるが、豊富にある森林資源を活用して地元発電し、雇用を生み、林業振興による中山間地活性化にもつながることから、市として支援するべきではないか。

A 現在、事業者と地元の理解や、原料となる木材の安定供給、伐採後の植林を巡る課題の解決と進め方などについて意見交換を行っている。2年後の開業を目指していることから、市関係者、一関地方森林組合と共に課題解決を図り、県の審査を経て積極的にこの事業が計画通りに進むよう対応していきたい。



木質バイオマスを活用したまちづくりを

その他のQ&A

- ベトナムや台湾訪問の市政への反映
- 国民健康保険事業への財政支援



*4 木質バイオマス発電

樹木の伐採や造材のときに発生した枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこくずなどを燃やしてタービンを回して発電する仕組み。

二次元コードを読み取ると、各議員の一般質問の様子をご覧いただけます！



佐々木久助 議員
ささき きゆうすけ



茨城県

交流事業の取り組み実態

Q 室根、大東両地域で行われている交流事業のうち、大東地域と千葉日本大学第一中学校（千葉船橋橋市）との取り組み実績と課題について伺う。


A 千葉日大一中の自然体験学習は、平成7年からの取り組みで29年目になり、令和4年までに1269名の生徒さんに当市を訪問していただいている。
*6 関係人口拡大の観点から大きな成果を上げている。中学生の参加意欲が高いのに対して、高齢化による受け入れ農家の不足が課題であり、複数の家庭で受け入れるなどの対策を検討し、事前に受け入れ家庭同士の話し合いを開催するなどの取り組みを考えている。



長年続く自然体験学習

その他のQ&A

○繁殖子牛価格低迷の地域経済の影響について



小岩寿一 議員
こいわ ひさかず

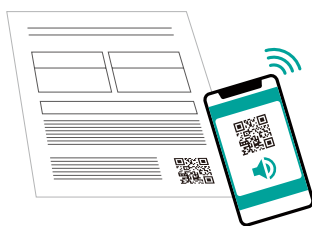


ネルソン・マンデラ

「ユニボイス」の導入を

Q 視覚障がい者や小さい文字が見づらい高齢者、外国人など、文字情報が読み取れない人に向けて、音声で情報を提供することができる方法に音声コード（ユニボイス）というものがある。国や地方自治体などから送られる公的な文書、年金、医療、各種保険や公共料金の通知書類などに、音声コードの記載が必要と考えられるが、いかがか。


A 視覚障がいのある方への通知文書、市政情報サービスなどの情報提供で活用することに加え、この機能を生かした外国人の方への支援も考えられることから、各自治体の取り組みを参考に、導入についての検討を進めていきたいと考えている。



内容を音声で

その他のQ&A

○リトルビーハンドブックの作成について



千葉栄生 議員
ちば えいせい



直江兼統

気候障害による農業支援策

Q 令和5年4月下旬から5月上旬にかけて低温の日が続いた影響で、多くの果樹が霜による害を受けた。凍霜害などによる減収への支援が必要と考えるが、いかがか。


A 果樹の凍霜害による被害額は、関係機関からの聞き取りなどにより1億2000万円に上ると見込まれることから、病害虫防除のための農薬と、果樹の品質低下を防止するための薬剤購入に関するかかり増し経費に対し、県と市がそれぞれ3分の1を補助する事業を今、9月議会で補正予算に提案している。



さらなる支援が求められる果樹農家

その他のQ&A

○エネルギー価格高騰等による低所得者支援



*6 関係人口

地域と多様に関わる人々のこと。地域内にルーツがある人、過去に滞在したことがある人、よく行き来している人など。

*5 音声コード

印刷物上の二次元コード。スマホなどで読み込むと、文字情報を音声で聞くことができる。メーカーによって「ユニボイス」「SPコード」がある。



佐藤真由美 議員
さとう まゆみ

杉原千畝

地域おこし協力隊支援体制

Q ^{*8} 地域おこし協力隊は、生活の拠点を知らない土地に移し、人生を懸けて来てくれる。隊員の皆さんが安心して地域で活躍できるように、しっかりとした支援体制を早急に整えていただきたい。

A 今年度は職員の勉強会開催や地域に制度説明を行い、準備を進めてきた。今後は隊員と職員がビジョンを共有し、活動しやすい環境づくりに努めていきたい。

Q 国の制度「地域おこし協力隊員の日々のサポート経費」を活用しOB、OGに協力いただき相談体制を充実する考えはないか。

A 担当部署と委託先と隊員の状況を見ながらサポート業務の委託など、検討を進めていきたい。



一関市地域おこし協力隊のホームページ

その他のQ&A

- 自衛隊への名簿提供について



岡田もとみ 議員
おかだ もとみ

坂本龍馬

地域経済の活性化

Q NEC跡地利活用の調査活動で市民ワークショップなどに寄せられた市民要望、希望を駅周辺のまちづくりに生かすことが地域経済の活性化に必要。特に、駅西側商店街は市の拠点であり整備方針がないのは問題。整備方針を示し地域経済の活性化を。

A JR一ノ関駅東口工場跡地の利活用検討が始まる以前からの課題。土地や建物の所有者、商店主の方々とこれまで2回懇談した。さらにアンケートの調査項目の検討を進めている。

Q NEC跡地に市民要望を集約する方針では、市の財政力から西側商店街を整備する余力があるのか危惧するが。

A 市民の意見要望を全て NEC跡地に集約するという事はない。アンケートは中心市街地の整備方針を決める目的ではない。



駅西側の商店街

その他のQ&A

- 熱中症対策の強化
- 介護職員への支援策



永澤由利 議員
ながさわ ゆり

ぬかたのおおきみ 額田王

障がい者にやさしいまちづくりを

Q 障がいの有無に関わらず、誰もが暮らしやすいまちづくりの一環として、^{*7} 合理的配慮の提供を支援する助成制度を設ける必要があると考える。民間事業者や自治会など地域の団体が、障がいのある人に必要な合理的配慮を提供するために、点字メニューやチラシの音訳などのツールの作製費用、折り畳み式スロープや筆談ボードなどの購入費用、手すりなどの取り付け施工費用を助成する考えがあるか伺う。



困り事を話し合って解決

A これまでも市の施設への点字ブロック敷設、スロープ設置などは行ってきた。法改正により、合理的配慮の提供は行政だけでなく、事業者にも義務化される。国の動向を注視しながら、まずは事業者への周知と意識啓発に力を入れたい。

その他のQ&A

- 人工透析患者の通院支援
- 避難所におけるコミュニケーション支援
- 市営住宅の地域ごとの現状と課題
- 農畜産業への支援



*8 地域おこし協力隊

都市地域から過疎地域などに移住した隊員が、自身の能力を生かして地域おこし支援などを行い、地域の活性化を図る取り組み。任期は1～3年。

*7 合理的配慮

障がい者らの求めに応じ、可能な範囲で社会的障壁を取り除くための配慮を提供すること。令和6年4月から提供が義務化される。

市民の

声



地域の未来づくり

きくち まさよし
菊地昌斉さん（大東町猿沢）

私は3人兄弟の長男で、父から家を継ぐことが大事だと言われて育てられました。家を守ることで地域の人口減少、地区の役員の担い手不足などの課題対策に貢献できるからという理由です。若者のチャレンジ精神を尊重しながら、地域の魅力や良さ、家族の大切さを考え、行政、企業、地域、学校が一体となって協働することができる仕組みが必要だと考えます。横のつながりを大切に、楽しい、自慢できる地域づくりができたらと思います。そのためにも、議員の皆さんには産業振興を支援していただけるようお願いいたします。

日々の暮らしで思うこと
まちづくりに期待することなど
市民の声を聞きました



病になり思うこと

すがわらはな
菅原花さん（川崎町薄衣）

今年の始めに強直性脊椎炎という指定難病が分かり、今は回復に努めています。病気が分かって初めて、人口120万弱の岩手県に1万人近い指定難病の方がいると知りました。難病に限らず、病気と闘いながら生きる人は数多くいますが、程度の差はあれ、健康な時とは同じようにできないことがあります。私の場合、同じ姿勢を続けると痛みやこわばりが増してしまうので、適度に休憩したり体を動かしたりする必要があります。闘病する人たちが治療を乗り越えた先で、無理なくさまざまな働き方ができる社会が広がってほしいと思っています。

議会モニターから寄せられた主な意見や提言

- 小中学生による議会傍聴を社会科見学のひとつとして導入してはどうか
- 土日、祝日などの議会開催や、地域に出向いでの出張議会などを開催してはどうか
- 議会への関心を高めるために、議員による声かけ、住民の意見を聞くことが大切
- ユーチューブやInstagram、ラインを活用して情報を発信してほしい
- 議会で審議していることが、市民生活に密着した内容であることを伝えてほしい



よりよい議会運営に向けて 議会モニターと議員が意見を交換

議会モニターと議員（広聴広報委員）の意見交換会を10月4日、市役所で開催しました。

議会モニターは、議会運営に当たり広く市民の意見を聴くため、令和3年度から設置しているもので、毎年度10名程度の市民に委嘱しています。5年度は8名を委嘱し、議会運営や議会だよりなどへの提言を頂いています。

意見交換会は、①議会への関心を高める取り組み、②議会活動の見える化、③議会だよりの作成の三つをテーマにワークショップ形式で進めました。参加したモニターからは上記の意見や提言のほか、リニューアルした議会だよりについて評価する声も寄せられました。

意見交換を終え、広聴広報委員会の門馬功議員は「(出された意見などは)大変参考となるものであり、議会としても詳しく研究していく必要がある」と述べました。

意見交換の内容は、議会のホームページで閲覧できます。



まつかわにじゅうごぼさつぞう 松川二十五菩薩像

東山町松川町裏ノ上 33-1



あんなとこ

こなとこ

東山町松川地区には、平安時代末の作とされる25の菩薩像がまつられている菩薩堂があります。伝説によると、この二十五菩薩像は砂鉄川の氾濫の際に、松川に流れ着いたものとされています。二十五菩薩は、極楽浄土から阿弥陀如来や観音菩薩などが死者を迎えに来る「来迎」の様子を、立体的に描いた仏像で、全国的にも珍しいものです。

現在は、多くの部材が分割されていて、残念ながら完全な姿の仏像はありませんが、かすかに残る漆から、二十五菩薩にも金色堂の仏像と同じく金箔が施されていたことが分かっています。その見事な彫像から、完全体ならば国宝級とされています。

昭和31年、岩手県有形文化財に指定されました。



11:01
75%

市議会NEWS



**総務常任委員会の調査を踏まえ
議会から市長に「提言」**

総務常任委員会の約2年間にわたる市政課題の所管事務調査を踏まえ、地域づくりなどに係る政策提言書を勝浦議長から佐藤市長に提出しました。提言書は議会のホームページで閲覧できます。

提言書の提出に当たり勝浦議長は「二元代表制の一翼として、議会基本条例に基づき、今後も積極的に政策提言したい」と述べました。

今号の COVER 紅葉のこぐる小黑滝

四季折々の表情を見せる大東町鳥海の小黒滝。周辺の木々が赤や黄に色づく晩秋は、里山に響く水音に包まれてひとときわ鮮やかな風景が広がります。

イラストレーター：有華（市内在住）



編集後記

10月に広聴広報委員の任期2年を終え、次号からは新たな委員8名で「議会だより」を編集することになります。委員数は1名減となりましたが、気持ちを新たに、より良い「議会だより」を目指して頑張ります。また、議会をより身近に感じてもらうため、ラジオ、SNSなどの活用についても検討していきたいと考えています。市民の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。（委員長 門馬功）

広聴広報
委員会

【委員長】	門馬 功	【副委員長】	岩淵 優
【委員】	那須 勇 佐藤敬一郎	佐藤真由美 猪股 晃	菅原 行奈 岩淵 典仁 千葉 信吉